

国語科(書写)指導案

令和元年6月18日(火) 第3校時(10:50~11:35) 授業場所 4年1組教室
4年1組 指導者

授業の視点

「田」や「中」の漢字を例に、口の部分の筆順を色分けして示したことは、「虫」の口の終筆の書き方を理解し、正しい書き順で字形を整えて書くために有効であったか。

1 単元名 筆順と字形の関係を考えよう (四年 書写 P.10~P.14 光村図書)

2 単元の考察

(1) 教材観【新学習指導要領 国語 第3学年及び第4学年 1(3) 書写 エ(ウ)

書写に関する次の事項を理解し使うこと】

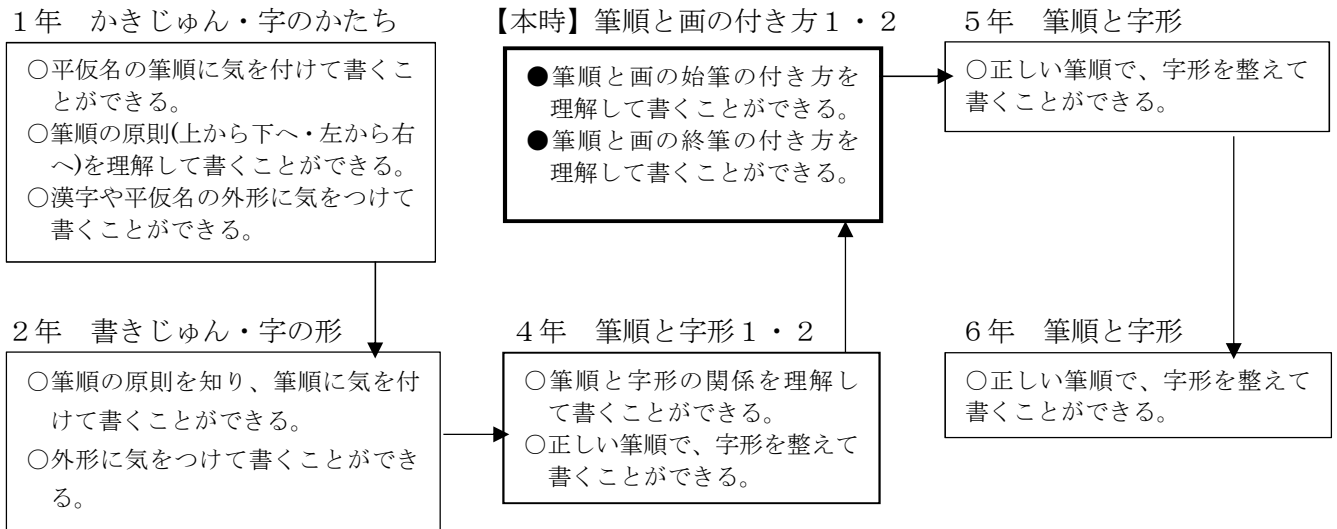
本単元では、筆順と字形の関係を考え、筆順によって画の長さが変わることがあることを理解し、正しい筆順で字形を整え書くことができることを捉えるようにする。

また、筆順と画の始筆・終筆の付き方の関係を考え、筆順と画の始筆・終筆の付き方を理解し気を付けて書くことができることを捉えるようにする。

本単元の指導にあたっては、毛筆を使用する書写の指導が、毛筆書写の能力の育成で完結しないように毛筆と硬筆との関連的な指導を重視するようにする。

(2) 児童の実態

(3) 系統



3 目標

筆順と画の終筆の付き方の関係に興味をもち、筆順によって画の付き方が変わることを理解し、正しい筆順で終筆の付き方に気を付けて書くことができるようにする。

4 評価規準

観点	おおむね満足できる状況
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○筆順と字形の関係を進んで考えようとしている。 ○筆順と画の終筆の付き方の関係を進んで考えようとしている。
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○筆順によって画の付き方が変わることがあることを理解している。 ○筆順と画の終筆の付き方に気を付けて書いている。

5 指導方針

- ・学習の導入の場面では、児童が主体的に活動に取り組むことができるように、点画の違いを分類する活動を行い、児童の気づきからめあてを設定する。
- ・展開の場面では、児童が筆順と画の付き方に気を付けて取り組むことができるように、お手本にポイントを書き込んだものを用意する。
- ・振り返りの場面では、児童が本時のめあてを達成できたかどうか気が付くことができるように、友だちのよいところを話し合う活動を行ったり、実物投影機で友だちの作品を映し話し合う活動を行ったりする。

〈特別支援教育の視点より〉

- ・1時間の流れを示すホワイトボードを取り入れ、授業の流れを視覚化することで、児童が授業に対する見通しを持てるようにする。
- ・実物投影機を使って、児童と同じ物を見せ、準備・示範などを映すことで、児童が言葉だけでなく視覚的に理解できるようにする。
- ・導入での意欲付けをし、めあてを焦点化することで、本時に何をすればよいか分からない児童が安心して主体的に取り組めるようにする。
- ・めあてをつかむ場面では、漢字パネルに対象となる画を赤と青で色分けすることで、画の付き方の原則を視覚的に捉えられるようにする。
- ・毛筆の練習の場面では、ストップウォッチを使って時間を明確に区切ることで、次の活動にスムーズに切り替えられるようにする。

6 指導と評価の計画(全9時間予定 本時)

学習過程	配当時間	主な学習活動 (本時7/9)	評価項目(方法)			
			関	知	技	
第1次 筆順と字形1 (3時間)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「左」「右」それぞれの横画と左払いを指でなぞり、筆順と字形の関係を話し合う。 ・筆順によって、画の長さが変わることがあることを知る。 ・「左右」の筆順と字形の関係を確かめる。 ・筆順と字形の関係に気をつけて、毛筆で「左右」を書く。 	①		①	<p>関①筆順と字形の関係を進んで考えようとしている。(観察・発言)</p> <p>技①筆順と字形の関係に気をつけて、正しく書いている。(半紙)</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・筆順と字形の関係に気をつけて、毛筆で「左右」を書く。 			②	<p>技②「左右」を筆順と字形の関係に気をつけて、正しく書いている。(半紙)</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の学習を生かして硬筆で言葉を書く ・自己評価をする。 		①		<p>知①筆順によって、画の長さが変わることがあることを理解している。書写ノートに記述している。(書写ノート)</p>
第2次 筆順と字形2 (2時間)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい筆順で書くと字形を整えやすいことを知る。 ・筆順と字形に気をつけて、硬筆で漢字を書く。 ・自己評価する。 	②		② ③	<p>関②正しい筆順で、字形を整えて書こうとしている。(観察・発言)</p> <p>知②正しい筆順を理解している。(観察・書写ノート)</p> <p>技③正しい筆順で、字形を整えて書いている(書写ノート)。</p>
第3次 筆順と画の付き方1 (2時間)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「原」と「皮」を見て、筆順と画の始筆の付き方の違いを話し合う。 ・画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることを知る。 	③		③	<p>関③筆順と画の始筆の付き方の関係を進んで考えようとしている。(観察・発言)</p> <p>知③画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることを理解している。(観察・書写ノート)</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生かして、硬筆で言葉を書く。 ・自己評価する。 			④	<p>技④「原」と「皮」を筆順と画の始筆の付き方に気をつけて書いている。(書写ノート)</p>

第4次 筆順と画の付き方2 (3時間)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・「口・中・田・国」など見て、画の終筆の付き方の違いを話し合う。 ・折れの後、すぐに横画を書く場合はと折れと横画を続けて書かない場合で、画の終筆の付き方が変わることを知る。 ・「虫」を書くときの画の終筆を確かめる。 ・筆順と画の終筆の付き方に気をつけて、毛筆で「虫」を書く。 	④		<p>関④筆順と画の終筆の付き方の関係を進んで考えようとしている。(観察・発言)</p>
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・筆順と画の終筆の付き方に気をつけて、毛筆で「虫」を書く。 			<p>技⑤「虫」を筆順と画の終筆の付き方に気をつけて書いている。(半紙)</p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の学習を生かして、硬筆で漢字を書く。 	④		<p>知④筆順によって画の付き方が変わることがあることを理解している。(観察・書写ノート)</p>

7 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

クイズ形式で□のある漢字をよこチームとたてチームに分ける活動を通して、筆順と字形の関係を考え、画の終筆の付き方の違いを理解し、「虫」を書くときの終筆の付き方に気を付けて毛筆で書くことができるようにする。

(2) 準備

教師：実物投影機、プロジェクター、スクリーン、漢字パネル、お手本、練習用紙（かご文字1枚ずつ）、半紙2枚ずつ、書写道具、新聞紙、ペットボトル、振り返り用紙

児童：書写道具、新聞、ペットボトル、新聞紙の作品ばさみ、えんぴつ

(3) 展開

	児童の学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	◇支援及び留意点 ☆研究上の手立て □Aへの個別支援	時間	評価及び評価後の指導・支援
導入	<p>1. 学習用具の準備をする。</p> <p>2. 鉛筆で「虫」を書く。</p>	<p>◇授業が始まるまでに、習字道具、新聞紙、筆洗いペットボトル、作品ばさみ、練習用紙、半紙を正しく準備できるように、配置を実物投影機で示しておく。</p> <p>◇授業の終末に字形の変化に気付くことができるように、鉛筆で普段書いている「虫」を書かせる。</p>	10	

<p>3. 「口」と「田」の画の終筆の付き方の違いを話し合う。</p> <p>○「口」と「田」のこの○で囲まれたところは、よこが出るのかな？たてが出るのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「口」と「田」の最後は違うのかな。 ・同じじゃないかな。 ・1年生のころに、「口」は最後横がでるって教わったと思う。 <p>4. 画の終筆の付き方が変わることを理解する。</p> <p>○よこチームとたてチームに分けられたけれど、よこチームの決まり、たてチームの決まりは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よこチームとたてチームに分けたけれど、それぞれどんな決まりがあるのかな。 ・分かった！よこチームは、「口」の中に何も無いよ。 ・たてチームは、「口」の中に点とか線があるよ。 ・よこチームは、書き順で考えると先に口を書く。 ・たてチームは、書き順で考えると口を書く途中に違う点とか線を書く。 <p>5. 「虫」は、よこチームに入ることを確かめ、めあてを見いだす。</p> <p>○「虫」は、よこチームとたてチームどちらに入るのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虫」は、「中」に似てるからよこチームかな。 ・「虫」は、口の中に線があるから、たてチームかな。 ・「虫」は、書き順で考えると先に口を書くから、よこチームだ。 <p>○分かった人は、分からない人にヒントを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虫」は、「中」に似ているよ。 ・書き順で考えるといいよ。 ・「虫」は、先に口を書くか書かないかを考えるといいよ。 	<p>◇「口」と「田」の画の終筆の付き方は、横が出るか縦が出るかという考えがもてるように、着目するポイントを示したカードを提示し、クイズ形式でよこか？たてか？を問いかける。</p> <p>◇終筆の付き方の違いが理解できるように、「中」「目」のカードについてもクイズ形式でよこか？たてか？を問いかける。</p> <p>◇児童自ら「画の付き方」の原理・原則を発見し、文字に対する関心・意欲高めるめあての設定ができるように、分類した横チームと縦チームの共通点を問いかける。</p> <p>◇本時で書く「虫」の終筆の付き方は「折れ」と横画の関係より横が出るという考えをもてるよう、「虫」は横チームと縦チームどちらにはいるか、どうして横チームなのかを問いかける。</p> <p>☆画の付き方の原則を視覚的に捉えられるようにするために、対象となる画を赤と青で色分けする。</p>	<p>関 筆順と画の付き方の関係を進んで考えようとしている。 (観察・発言)</p>
<p>6. 本時の課題とめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 筆順と画の付き方を考えて「虫」を書こう</p> </div>		

<p>自力解決・集団解決</p>	<p>7. 筆順と画の終筆の付き方に気をつけて、毛筆で「虫」を書く。</p> <p>1 枚目…わく付きプリントに練習する。</p> <p>2 枚目…半紙にポイント練習をする。</p> <p>3 枚目…1 分間練習をする。</p>	<p>◇「虫」の画の終筆の付き方に気を付けるとともに書き順と筆使いも確認できるように、実物投影機を使い示範の様子を見せる。</p> <p>◇本時のポイントをきちんと理解できるように、1 度目はわざと横を出さずに間違える。</p> <p>◇姿勢に気をつけて書くことができるように、「合い言葉」を唱える。</p> <p>☆中心やバランスを視覚的に捉えられるようにするために、半紙は折補助線ありのものを用意する。</p> <p>□筆使いや力加減がうまくいかない児童へは、筆をもって具体的な動き一緒にする。</p> <p>□思い通りにいかずいらしている児童へは、「失敗してもいいんだよ。」「紙がまだ必要な人はあげるよ」などと声掛けをする。</p>	<p>25</p>	
<p>まとめ・振り返り</p>	<p>8. 隣同士で友だちの作品のよいところを伝え合う。</p> <p>1 つ目…本時の筆順と点画について</p> <p>2 つ目…その他の点について</p> <p>9. 振り返りをする。</p> <p>〈ねらいを到達した児童の意識〉 「虫」を筆順と画の終筆の付き方に気をつけて書くことができたぞ。次の時間は、左右のバランス</p>	<p>○視点をしぼることで、筆順と画の付き方を意識して意識して話し合いができるように、よいところ探しができるよう促す。</p> <p>○導入で書いた「虫」と練習を終えて書いた「虫」の2つの文字を比較できるように、導入で書かせたシートの裏にまとめ書きを鉛筆で書かせ、紙を折り返すよう促す。</p> <p>○めあてが達成できたかどうかを挙手させることで、本時を振り返ら</p>	<p>10</p>	<p>技 筆順と画の終筆の付き方に気をつけて書いている。</p>

<p>や右上にはらうところにも気をつけて書いてみるぞ。</p> <p>9. 片付けをする。</p>	<p>せる。</p>		
---	------------	--	--

※マグネット式スクリーン
実物投影機で

- ・正しい準備の様子
- ・教師の示範
などを投影

三つ目 (半紙)

二つ目 (半紙)

一つ目 (半紙)

書順と画の付き方を考えて「虫」を書こう

虫

口とじない
田

口とじ
口

目

中

虫

6月18日(火)